

# 洛陽新聞

発行者  
古松依央

## 世界遺産 龍門石窟

私は7月22日から29日まで岡山市子ども海外派遣事業により洛陽市を訪れた。ホームステイをしながら、観光をしたり、現地の様々な場所に行ったりした。

2000年に世界遺産に登録され、中国三大石窟でもある龍門石窟は、10万体の仏像が約1kmに渡って彫られている。メインの盧舎那仏の大きさは、高さ17.14m、耳だけで1.9mもあり、すごい迫力だった。

マンションのように空けられた穴や、小さくて細かい仏像などが見られたが、顔が無い仏像や、削られたような跡がある仏像もあった。それは、中国で文化大革命が起きたとき、仏教が否定されてしまい、人工的に破壊されたものだという。



### 旧市街」を歩いて

4日目、昔ながらの街並みが残る旧市街を訪れた。とてつもなくローカルな飴屋さんに行ったり、中国の昔の衣装を着たり、お土産を買ったりできた。旧市街の入り口には立派な門があり、とても中



### 洛陽での食生活

上の写真は、ホストファミリーの祖父の家での食事。高野豆腐の煮物や、優しい味の卵とトマトの炒め物、きくらげとブ



肉、また、私がピーマンを好きと言っていたので、ピーマンが入った野菜炒めも出してくれた。下の写真は、リアルな頭付きの、味の付いた鶏肉。少林寺を観光した後のお昼ご飯に食べた。出てきたときは驚いたが、味はとても美味しかったし、鶏の頭も慣れれば平気だった。

中国の人は、朝ご飯にお粥をよく食べる。また、日本人よりも多くの種類の果物を、たくさん食べる。実際、ホストファミリーの家の朝ご飯によくお粥が出てきたし、きれいな渓谷のある山に登った際、ホストファミリーのお母さんお父さんが袋からバナナやリンゴを出して勧めてくれた。現地のスーパでも日本では見たことのない果物を多く見た。

### 洛陽の街並み

中国といえは高層マンションのイメージだが、洛陽もまさしく高い建物が多かった。上の写真は、洛陽の景色、下の写真は、ホストファミリーの家の窓から見える景色である。道端には、野菜の屋台やスイカの屋台があった。また、夜になると歩道におじさんおばさん達がイスを並べてカードゲームを楽しんでいる風景が見られた。



### 感想

言葉も文化も全く違う場所での1週間過ごすのは不安があったが、ホストファミリーはとても優しくかったし、洛陽にはテーマパークや大きなショッピングモールなど遊べるスポットがたくさんあって、毎日とても楽しかった。

私は洛陽という街が好きになりましたし、これからも岡山市との良い関係がずっと続き、洛陽を訪れる